

ピーター・シンガー 「一つの共同体」

1. 要約

アメリカで起きた2001年9月11日のテロ攻撃の話からこの章の話は始まる。テロが起きたときのアメリカに寄せられた寄付の額などの具体例を引きあいに出してこれから論じる世界の貧困の問題について分かりやすく読者を導入していている。ここから同国人と絶対的に貧困に陥っている人々がいる時に一体どこまで「一つの世界」が国民国家を超えた道徳的基準になれるのか—またどこまでそうあるべきなのか—について数々の視点から検討されている。以下その視点ごとに見ていく。

倫理と公平性

ここでは私たちが「自分たちの仲間」に特別な義務を負っているかどうかをどのようにして知ることができるか、また、もし義務を負っているなら「自分たちの仲間」とは誰のことなのかについてゴドウィンのフェネロン大司教と女中の話や著者の沼に落ちた子供の話、ベンガル地方の難民の話をもとにした批判とともに述べている。そして最後にはこれらの身近な人に対する義務は、公平な視点からの正当化の要求に耐えることができるのかという問いがなされている。

偏愛的な選好を評価する

身近な人々の内、家族、友人、自分に親切にしてくれた人びとはで述べた正当化の要求に耐えうるとされている。これは愛情と友情にもとづく関係はほとんどの人にとってよき人生と呼びうる人生の中心をなすからであり、これらの偏愛的な感情を抑圧することは、何か大きな価値あるものを破壊することであるからであるという。またその偏愛をどの程度認めるかということや偏愛は義務なのかということも論じられている。

国民国家の倫理的な重要性

ここでは何が同国人であるかということについて拡大された親族としての同国人や、助け合いの共同体の中の同国人、想像の共同体の中での同国人というものを様々な哲学者たちの意見を引用しつつ検討している。

同国人を外国人よりも優先して助ける義務を助け合いの義務として理解することは可能としているが、はるかに差し迫った困難に見舞われている他国の国民よりも自分の同国人を優先すべき十分な理由とは言えないとしている。それは私たちが抱える問題はもはや国民国家システムでは解決できず、

世界という想像の共同体の成員として自己理解を持つべきだからである。

さらに著者は現在の状況においては、不平等が相対的であるにしても絶対的な貧困状態は、誰かの富に相対的ではない貧困状態であるため、外国人に対して持つ義務は同国人に対して持つ義務を超える重要性を持つとしている。

現実

アメリカ人のほとんどが現在アメリカがどのくらい寄付を行っているかを知らないということを著者はアメリカで行われた世論調査の結果を引用しながら述べている。常に世論調査の結果に関しては眉に唾をつけて取り扱われるべきだとしながらもアメリカ人が情けないほど無知であると述べている。しかしアメリカの対外援助の額の少なさに関する責任はアメリカの政治指導者の道徳的欠陥によるものだとしている。

倫理的挑戦

この最後の部分で著者はもし豊かな国の政治指導者が他国の絶対的貧困状態にわずかな配慮しかない場合、私たちは世界の最も貧しい人々を助けるために活動している団体にどのくらい寄付すべきか、という問いに対して著者は最終的に、基本的ニーズを満たしたあとに余分な収入がのこる人はみな年収の1%を最も貧しい人々を助けるために活動している団体に寄付すべきと提唱している。

2. 論点

論点

今回の東日本大震災によって日本が大きな被害を受け被災者は絶対的貧困とまでは言わないものの普段とはかけはなれた貧しい暮らしを強いられている。更には震災の 2 次災害として観光業界などをはじめとして日本全体の経済の停滞、損失(その損失に関しては 25 兆円という見積もりもなされている程であり中長期的には更なる損失が予想される)を日本は被っているのである。

このように自分の身にもある程度の影響があると予想される中でもなお被災していない地域に住みほとんど普段と変わらない生活を送っている人々は、今回の著者が言うようにより大きな困難にある絶対的貧困にある人々に優先して寄付を行うべきか。

<被災者を優先する意見>

- ・ 自国人ことなのでやはり日本が主導してやるべき。
- ・ 震災は誰の責任でもないのに、被害を受けた日本が率先して行動すべき。
- ・ 絶対的貧困を助けるより早く助けることができる。

<絶対的貧困を優先する意見>

- ・ 絶対的貧困を救うことで、将来的に自国に何らかの利益を期待できる。
- ・ 同じ金額で助けることができる人数が絶対的貧困の方が多い。

論点

著者は世界という想像の共同体の成員としての自己理解を持つべきと主張している。我々は世界を一つの共同体とみて、他国の絶対的貧困に対して援助する義務を持つと考えるべきか、日本を一つの共同体とみて日本の相対的貧困に対して義務を持つと考えるべきか。

<共同体を世界と考える意見>

- ・ 貿易等を通して世界はグローバル化が進んでおり、人々もすでにそのような認識を持っている。
- ・ 世界に目を向けた方が多くの人を助けることができる。

<共同体を日本と考える意見>

- ・ 世界を共同体とするのは具体的なイメージが浮かびにくい。
- ・ 海外援助等も結局は日本の利益を考えて行われている。
- ・ ホームレスなどの日本の貧困者は日本が助けなければならない。

<その他の意見>

共同体の範囲ではなく、自分が知ってるか知っていないかによって義務が発生する。

参考資料

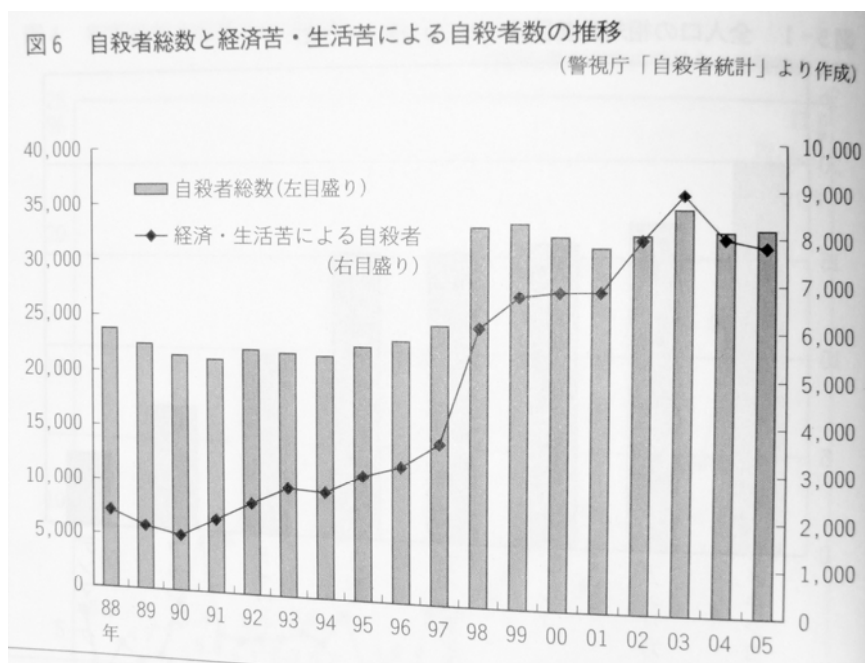
日本全国のホームレス数

	男	女	不明	合計	差引増▲減
19年調査	16,828	616	1,120	18,564	-
20年調査	14,707	531	780	16,018	▲2,546(▲13.7%)
21年調査	14,554	495	710	15,759	▲ 259(▲ 1.6%)
22年調査	12,253	384	487	13,124	▲2,635(▲16.7%)

厚生労働省発表

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/seikatsuhogo/homeless10/>

2000年から2004年までの5年間に大阪府下で1052人のホームレス生活者が死亡している。死因のうち自殺が11.6%(122人)、凍死が9.5%(76人)飢餓死が4.4%を占めている。



参考文献：『検証日本の貧困と格差拡大：大丈夫？ニッポンのセーフティネット』日本弁護士連
合会

「相対的貧困者」は、各国の平均的な所得水準の半分に満たない人達のことを指している。

正しくは、等価可処分所得の中央値に対して半分に満たない人達。等価可処分所得は、世帯全体の所得を家族人数の平方根で割って算出する。

日本の状況で大まかに言うと、国民生活基礎調査（2008年）による一世帯あたりの平均年収は556万円だが、高額年収を得ている一部の人達が平均値を押し上げていることを考慮して、全世界帯の中央値でみると「年収448万円」がちょうど真ん中になる。つまり、そこから導かれる“相対的貧困”は3人家族で世帯年収が224万円前後の水準になる。

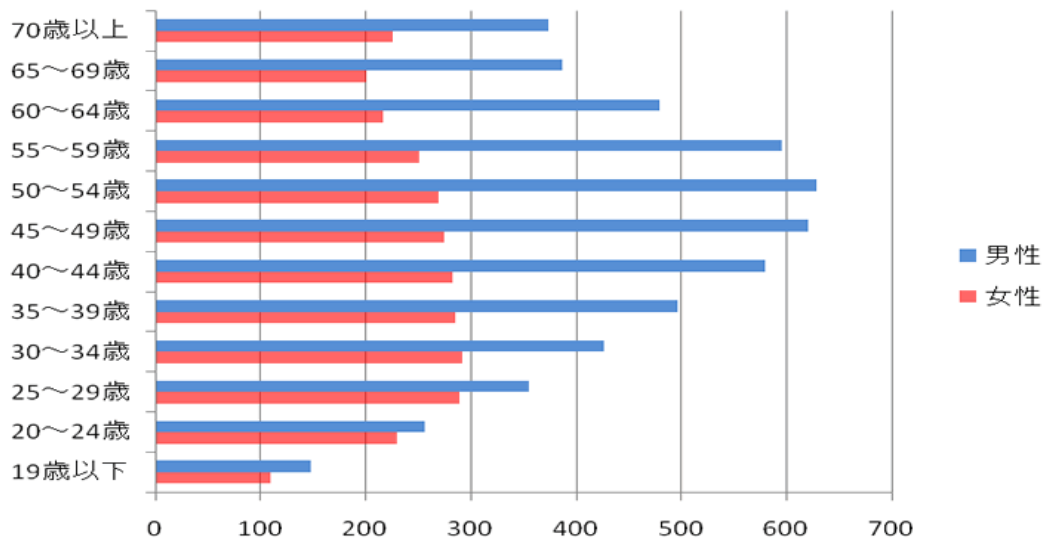
《日本の一世帯あたり所得分布状況》

・ 100万円未満	5.9%	
・ 100～200万円	12.6%	
・ 200～300万円	12.8%	→相対的貧困のボーダーライン
・ 300～400万円	13.0%	
・ 400～500万円	11.1%	→中央値 448万円
・ 500～600万円	9.6%	→平均所得 556万円
・ 600～700万円	7.7%	
・ 700～800万円	6.3%	
・ 800～900万円	5.2%	
・ 900～1000万円	4.0%	
・ 1000～1100万円	2.8%	
・ 1100～1200万円	2.1%	
・ 1200～1300万円	1.6%	
・ 1300～1400万円	1.1%	
・ 1400～1500万円	1.1%	
・ 1500万円以上	3.3%	

※1世帯あたりの平均家族数は2.6人
※出所：国民生活基礎調査（2008年）

<http://www.jnews.com/kigyoka/2011/001.html>

日本人のサラリーマンの平均年収



<http://nensyu-labo.com/>

アイシェア調べ...

まず3月11日以降(4月1日までの間)に、「東日本大震災からの復興のために何かアクションを起こしたか」を尋ねたところ、63.5%が「起こした」と回答。男性では58.6%だったが、女性ではこれを12.7ポイント上回る71.3%がアクションを起こしていた。ちなみに「起こしていない」との回答は全体の36.5%だった。

復興のために起こした具体的なアクションでは、「募金した」がもっとも多く93.9%。以降「支援物資を送った(12.0%)」「募金を集めた(5.4%)」「支援物資を集めた(4.2%)」「献血した(3.7%)」と続いた。今後の復興へのアクションについて全員に聞いたところ、「起こす予定」としたのは28.6%。「機会があれば起こすと思う」が54.3%となり、合計82.9%が今後もアクションを起こす意向であることが分かった。またこちらも男性79.8%に対し、女性が87.7%と上回った。ただし「起こさないと思う」という回答も17.1%存在した。

<http://www.rbbtoday.com/article/img/2011/04/14/76154/132474.html>

注：アイシェア...マーケティングリサーチ会社。

ホームページアドレス：<http://www.ishare1.com/>

日本赤十字社に4月15日現在集まっている義捐金1372億4566万9468円

寄付の件数...192万3533件

一件当たり...7万1351円(小数点以下四捨五入)

<http://www.jrc.or.jp/>